

中学校第 3 学年

国語 A

注 意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1 ページから 28 ページまであります。問題用紙の空いている場所は、下書きや計算などに使用しても構いません。
- 3 解答は、全て「国語 A」の解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗り潰してください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏にもあります。
- 8 調査時間は、45 分間です。
- 9 「国語 A」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗り潰してください。

問題は、次のページから始まります。

1

次は、中学校の入学式の様子を伝えるニュースの【画面】と、そのときの【テレビから流れている音声】です。【画面】に示された字幕についての説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【テレビから流れている音声】

初めて同じ学級になる人もいると思うので楽しみです。
ええと、私から進んで話しかけて、たくさんの人と仲良くなって、友達を増やしたいと思っています。

【画面】



- 1 【テレビから流れている音声】の言葉遣いの誤りを訂正している。
- 2 【テレビから流れている音声】の話の要点を示している。
- 3 【テレビから流れている音声】の難しい言葉の意味を解説している。
- 4 【テレビから流れている音声】の省略された内容を補っている。

2

山田さんは、「身近な道具の昔と今」というテーマでスピーチのリハーサルをしています。次は、リハーサルで実際に話した【スピーチ】と提示したイラスト【A】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】の提示するものを表します。）

【スピーチ】

皆さんは、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、どのような違いがあるのか知っているでしょうか。

柄のついた傘は、千年以上前に日本に伝わってきたと言われていて、主に貴族や僧侶が日よけとして使っていました。後に雨傘としても使うようになり、江戸時代になると次第に使う人が増えていきました。これが江戸時代の雨傘です。

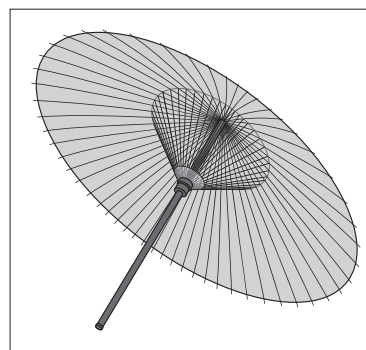
【A】

このような傘は、今でも使われることがあるので、見かけたことがあるかもしれません。

まず、江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方が違います。江戸時代の雨傘は、竹の骨に和紙をはり、油を塗って水をはじくようにしています。（ア）古くなった場合には、和紙をはり替えて使っていたそうです。（イ）一方、今私たちがよく使っている雨傘は、金属の骨にポリエステルをはったものが多いです。（ウ）丈夫で乾きやすい素材が使われているのです。また、骨が傷んだ場合などには修理することもあります。次に、閉じたときの持ち方が違います。（エ）江戸時代の雨傘は、開いたときに握っている部分を下にして持ちます。今私たちがよく使っている雨傘のように持つと開いてしまうからです。

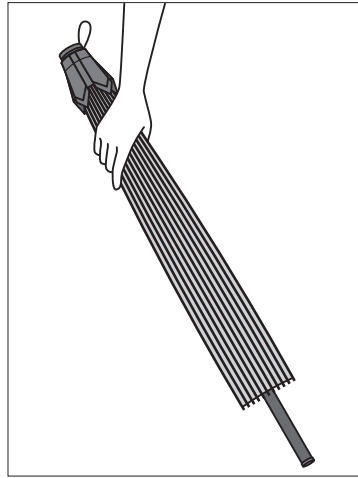
江戸時代の雨傘と、今私たちがよく使っている雨傘とでは、作り方や持ち方が違ってきます。しかし、修理して大切に使うことができる点は同じです。私は雨傘を大切に使うつもりだと思います。そして雨傘だけではなく、他の身近な道具も見つめ直して大切に使うしていきたいです。

イラスト【A】



一 山田さんは、スピーチをより分かりやすくするために、イラスト【A】に加え、次のイラスト【B】を提示することになりました。【スピーチ】の（ア）から（エ）までのどの箇所でも提示すればよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

イラスト【B】



二 【スピーチ】の構成を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 話題を示した上で調べた事実を述べ、終わりにその事実をもとにした自分の考えを述べている。
- 2 話題を示した上で自分の考えを述べ、次にその考えを支えるための根拠として調べた事実を述べている。
- 3 自分の考えを述べた上で話題を示し、調べた事実を観点ごとにまとめて終わりに述べている。
- 4 自分の考えを述べた上で話題を示し、次に自分の考えに結び付くように調べた事実を述べている。

3

次は、高島さんが自分の体験をもとにして書いた【物語の下書き】と、それを読んだ友達からの【助言】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【物語の下書き】

明日に迫った合唱コンクールに向けて、健一たちは練習をがんばってきた。

そしていよいよ本番に向けての最後の練習。張りつめた空気の中、指揮者の動きとともに歌声とピアノの音が静かに止まる。

一瞬の静寂のあと、指揮をしていたカオルが満面の笑みで言った。

「今までで一番よかったよ。」

皆の顔にも笑みが浮かんだ。

「この調子なら明日もよい歌が歌えそうだ。」

と、健一は思わずつぶやいた。

【助言】

①

皆ががんばって練習している様子が伝わるように、会話を増やすとよい。

②

この出来事が学校のどこで起きているのかが分かるように、場所を示すとよい。

③

緊張した雰囲気がやわらいだことが分かるように、情景の描写を加えるとよい。

④

練習の大変さが伝わるように、過去の練習の場面を入れるとよい。

一 高島さんは、【物語の下書き】を読み返し、――線部「練習をがんばってきた」を、それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直すことにしました。次の□に当てはまる言葉を、「がんばる」という単語を使わずに、十五字以内で書きなさい。

健一たちは

二 高島さんは、【助言】を参考にして、【物語の下書き】の< のところに次の一文を書き加えることにしました。高島さんが参考にした【助言】はどれですか。【助言】の①から④までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

窓から吹き込んでくるさわやかな風が、「あと一日」と書いたカレンダーを揺らす。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(池上嘉彦『ふしぎなことは ことばのふしぎ』による。)

(池上嘉彦『ふしぎなことは ことばのふしぎ』による。)

(池上嘉彦『ふしぎなことは ことばのふしぎ』による。)

一 ―線部「なぜ『辞書』は『ひく』のでしょう」は、この文章の見出しです。この見出しの内容に対するまとめとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 弓で矢を射るときの手の動きと、辞書を手元に引きよせる動きが似ていることから、辞書は「ひく」という言い方をする。
- 2 相手の注意をひくのに同じように、ことばに注意して考えるものであることから、辞書は「ひく」という言い方をする。
- 3 複数の辞書の中から一冊を選び出すのは、一本のくじをひくのと似ていることから、辞書は「ひく」という言い方をする。
- 4 ある一本のくじをひくのに同じように、ことばを選び出すものであることから、辞書は「ひく」という言い方をする。

二 この文章について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 結論を示してから理由を述べることで、取り上げている話題について読み手が納得できるようにしている。
- 2 問いかける表現を多用することで、取り上げている話題について読み手の関心を高めようとしている。
- 3 文末を断定的な表現に統一することで、取り上げている話題について読み手に強い印象を与えようとしている。
- 4 一つ一つの言葉を辞書に出てくる順序に沿って示すことで、取り上げている話題について読み手の理解を促そうとしている。

問題は、次のページに続きます。

生徒会だより

第一中学校生徒会

《生徒会長候補》

2年1組 池田 一郎

〈立候補者から〉

生徒が生き生きと活躍できる学校にします！

○ 意見箱の活用

生徒会の意見箱に入れられた提案などは、その内容を皆さんに伝え、全校生徒で考えます。

○ 生徒会だよりの活用

皆さんががんばっている様子を生徒会だよりで紹介し、第一中学校の生徒のよさを学校全体に広めます。

〈推薦者から〉

池田さんは、地道に努力する人です。所属するサッカー部では、いつも他の人より先にグラウンドに行って、一生懸命に基礎的な練習をしています。

また、周りの人たちのことを考えて行動する人です。

_____。

池田さんは、第一中学校の生徒会長としてふさわしい人だと思います。

(2年1組 林 花子)

一 へ立候補者から」の欄の書き方を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 始めに具体的に取り組みたいことを二つ書き、最後に目標をまとめて書いている。
- 2 具体的に取り組みたいことを二つ書き、全体を通した目標は示さずに書いている。
- 3 始めに目標を示し、次に具体的に取り組みたいことについて並べて書いている。
- 4 始めと終わりに全体を通した目標を示し、具体的に取り組みたいことをその間に書いている。

二 推薦者の林さんは、へ推薦者から」の□の部分に、――線部「周りの人たちのことを考えて行動する人」の具体例を書き加えることにしました。林さんが事前に集めた次の1から4までの情報のうち、具体例に使う情報として最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 幼い頃からサッカーが好きで、現在はサッカー部に所属している。
- 2 清掃のときは、自分の担当を終えると他の人の分も手伝っている。
- 3 趣味は読書で、休みの日は家でたくさんの本を読んでいる。
- 4 とても足が速く、いつもリレーの選手として推薦されている。

6

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらずじ」 「自分」は、眠って夢を見ている。夢の中にいる「自分」は、運慶の評判を聞き、運慶の仕事ぶりを見に行く。

運慶は見物人の評判には委細頓着なく鑿と槌を動かしている。いっこう振り向きもしない。高い所に乗って、仁王の顔の辺をしきりに彫り抜いて行く。

運慶は頭に小さい烏帽子のようなものを乗せて、素袍だか何だか別らない大きな袖を背中くで括くっている。その様子がいかにも古くさい。わいわい言ってる見物人とはまるで釣り合いがとれないようである。自分はどのようにして今時分まで運慶が生きているのかなと思つた。どうも不思議なことがあるものだと考えながら、やはり立って見ていた。

しかし運慶のほうでは不思議とも奇体きたいともほとんど感じ得ない様子で一生懸命に彫っている。仰向あおむいてこの態度を眺めていた一人の若い男が、自分のほうを振り向いて、

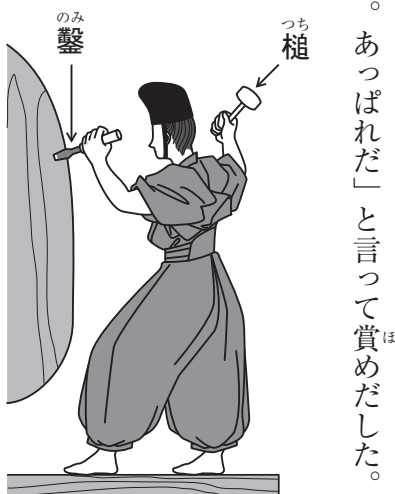
「さすがは運慶だな。眼中に我々なしだ。天下の英雄はただ仁王と我とあるのみという態度だ。あつぱれだ」と言つて賞めだした。自分はこの言葉を面白いと思つた。それでちよつと若い男のほうを見ると、若い男

は、すかさず、

「あの鑿と槌の使い方を見たまえ。大自在の妙境に達している」と言つた。

運慶は今太い眉を一寸の高さに横へ彫り抜いて、鑿の歯を堅に返すや否や斜に、上から槌を打ち下ろした。堅い木を一刻みに削って、厚い木屑が槌の声に应じて飛んだと思つたら、小鼻のおつ開いた怒り鼻の側面がたちまち浮き上がってきた。その刀

参考



の入れ方がいかにも無遠慮であつた。そうして少しも疑念を挟んでおらんように見えた。

「よくああ無造作に鑿を使つて、思うような眉や鼻が出来るものだな」と自分はあるまり感心したから独り言のように言つた。するとさっきの若い男が、

「なに、あれは眉や鼻を鑿で作るんじゃない。あのとおりの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違うはずはない」と言つた。

自分はこの時はじめて彫刻とはそんなものかと思ひだした。はたしてそうなら誰にでも出来ることだと思ひだした。それで急に自分も仁王が彫つてみたくなつたから見物をやめてさっそく家へ歸つた。

道具箱から鑿と金槌を持ち出して、裏へ出てみると、せんだつての暴風で倒れた檜を、薪にするつもりで、木挽に挽かせた手頃なやつが、たくさん積んであつた。

自分は一番大きいのを選んで、勢いよく彫りはじめてみたが、不幸にして、仁王は見当らなかつた。その次のにも運悪く掘り当ることが出来なかつた。三番目のにも仁王はいなかつた。自分は積んである薪を片っ端から彫つてみたが、どれもこれも仁王を蔵しているのはなかつた。

(夏目漱石「夢十夜」による。)

(注1) 委細頓着なく＝細かいことを気にしない。

(注2) 不思議とも奇体とも＝不思議であるとも奇妙であるとも。

(注3) 大自在の妙境＝少しの束縛もなく、自由な境地。

(注4) 豎に返すや否や斜に＝縦に返すとすぐに斜めに。

(注5) 木挽に挽かせた＝製材することを仕事にしている人に切らせた。

一 次は、この文章に登場する人物について整理したものです。 ア から ウ に当てはまる人物の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

ア	イ	ウ
……見物している	……見物しながら、	……見物しながら、
イ	ア	イ
から、「天下の英雄」とたたえられている。	の技術をほめたたえている。	の話聞き、家に戻って木を彫りはじめる。

- | | | | |
|---|------|-------|-------|
| 1 | ア 運慶 | イ 若い男 | ウ 自分 |
| 2 | ア 自分 | イ 運慶 | ウ 若い男 |
| 3 | ア 運慶 | イ 自分 | ウ 若い男 |
| 4 | ア 自分 | イ 若い男 | ウ 運慶 |

二 ———線部「どれもこれも仁王を蔵かくしているのはなかった」とありますが、この部分の意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 木挽が隠した仁王を見付けられなかった。
- 2 木が堅くて鑿では仁王を掘り出せなかった。
- 3 薪が小さすぎて仁王が入っていなかった。
- 4 仁王を彫刻することはできなかった。

問題は、次のページに続きます。

森さんは、国語の授業で本を紹介するために学校図書館で先生に相談しています。次は、森さんと先生との会話です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

森 国語の授業で、「青春」というテーマで本を紹介することになりました。自分でも探しているのですが、なかなか

これという本が見付かりません。何かよい本はありますか。

先生 森さんは、どのような本を取り上げたいと思っているのですか。

森 私は、何かに打ち込みながら成長していく人が出てくる本を二冊紹介したいと考えています。一冊はサッカーに打ち込む中学生を主人公とした小説を選びました。^①もう一冊はそれ以外を取り上げたいと思っています。

先生 もう一冊の本もスポーツに関係する本にしますか。

森 スポーツの本でも、スポーツではない本でもよいと考えています。

先生 それならば、野球に打ち込む中学生を主人公とした小説がありますよ。

森 いえ、そうではないのです。一冊は小説を取り上げたので、もう一冊の本は違うものにしたいのです。

先生 そうだったのですね。^②では、実際にあった出来事を書いた本はどうですか。

森 それは思い付きませんでした。具体的にはどのようなものがありますか。

先生 音楽に打ち込む人を取り上げた本や、演劇に打ち込む人を取り上げた本などがあります。音楽や演劇の棚を見てもみるとよいですよ。^③

森 分かりました。最初に音楽の棚を見てみます。ありがとうございました。

一 森さんの――線部①の発言のすぐあとに、先生から――線部②の発言を引き出すためには、森さんは――線部①でどのように発言するとよいですか。次の□に当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

もう一冊は

を取り上げたいと思っています。

二 ――線部③「最初に音楽の棚を見えます。」とありますが、森さんがこのような結論にたどり着いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 先生と相談しながら、目的に合った本の範囲を絞り込んでいったから。
- 2 先生と相談しながら、「青春」というテーマを別のものに変えていったから。
- 3 先生と相談しながら、自分が選んだ本の魅力を再発見していったから。
- 4 先生と相談しながら、多くの中学生が好む本の傾向を理解していったから。

8

次は、【詩】とその詩についての【感想の交流の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【詩】

祖母

三好達治
みよし たつじ

祖母は蛍をかきあつめて

桃の実のように合せた掌あわての中から

沢山な蛍をくれるのだ

祖母は月光をかきあつめて

桃の実のように合せた掌の中から

沢山な月光をくれるのだ

【感想の交流の一部】

木村

この詩に出てくる祖母は、優しい感じがするね。

石川

そうだね。「沢山な」、「くれるのだ」という表現から、孫を思う優しさが伝わってくるね。木村さんは、どの表現から優しいと感じたのかな。

木村

「桃の実のように合せた掌」という比喻を用いた表現から、大事に包み込むようにしてそつと孫に渡す様子が伝わってきて、優しいと感じたよ。

一 【詩】について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 第一連と第二連とでは敬語の使い方が全く同じなので、人物の相互関係が捉えやすい。
- 2 第一連と第二連とでは文末の表現の仕方が異なるので、時間が経過していることが明確になる。
- 3 第一連と第二連とでは使っている言葉がほぼ同じなので、異なっている言葉の印象が強く伝わる。
- 4 第一連と第二連とでは行数が異なるので、音読したときのリズムの違いがきわ立つ。

二 木村さんと石川さんの交流の様子について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 二人は同じ表現に着目し、祖母の人物像についても同じ見方をしている。
- 2 二人は異なる表現に着目し、祖母の人物像についても異なる見方をしている。
- 3 二人は同じ表現に着目しているが、祖母の人物像については異なる見方をしている。
- 4 二人は異なる表現に着目しているが、祖母の人物像については同じ見方をしている。

9

次の一から七までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の――線部のカタカナを漢字に直し、楷書^{かいしよ}でていねいに書きなさい。

1 組織のキボを大きくする。

2 雨で運動会がエンキになる。

3 店をイトナむ。

二 次の1から3までの文中の――線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 覚悟を決める。

2 鮮やかな色合い。

3 水が垂れる。

三 次のアからエの文では、最も適切な言葉を、オの文では、――線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれ（ ）の1から4までの中から一つ選びなさい。

ア (1) そで (2) えり (3) むね (4) わき) を正して話を聞く。

イ よい結果を早く出したいときは、(1) 一事が万事 (2) 論より証拠 (3) 急がば回れ (4) 光陰矢のごとし) といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

ウ 先生もこの書店をよく(1) ご利用する (2) ご利用していただく (3) ご利用いたす (4) ご利用になる) のですね。

エ 私は映画が大好きです。(1) したがって (2) ただし (3) あるいは (4) なぜなら)、映画なら何でも見るわけでは
ありません。

オ チームの勝利をカクシン(1) 臣 (2) 新 (3) 信 (4) 進) する。

四 横山さんは、吹奏楽部の部長を決める話し合いでアをイのように言い直しました。言い直した意図として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

ア 私は、水野さんが吹奏楽部の部長にふさわしいと思います。

←

イ 私は、水野さんこそ吹奏楽部の部長にふさわしいと思います。

- 1 「が」を「こそ」にすることで、水野さんが他の誰よりも吹奏楽部の部長にふさわしいことを強調しようとした。
- 2 「が」を「こそ」にすることで、水野さんより自分の方が吹奏楽部の部長にふさわしいことを強調しようとした。
- 3 「が」を「こそ」にすることで、水野さんには吹奏楽部の部長よりも他の役職がふさわしいことを強調しようとした。
- 4 「が」を「こそ」にすることで、水野さんも他の人と同様に吹奏楽部の部長にふさわしいことを強調しようとした。

【話し合いの記録】

校内でのあいさつを活発にするための取り組み	
活動内容案	結果
1 標語やポスターの募集と掲示を行う。	可決
2 登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	
3 下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	否決

五 次は、校内でのあいさつを活発にするための取り組みについての【話し合いの記録】です。「活動内容案」の「2」については、今回は結論が出なかったので、あとでもう一度話し合うことになりました。

に当てはまる言葉を、漢字三字以内で書きなさい。

六 書写の時間に「和」という字を次のように行書で書きました。これを見て、あとの問いに答えなさい。



1 楷書かいしよと比較したときの行書の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 楷書とは異なり、毛筆で書くことができる書体。
- 2 楷書とは異なり、筆脈を意識せずに書くことができる書体。
- 3 楷書よりも点画を崩さずに書くことができる書体。
- 4 楷書よりも速く書くことができる書体。

2 「和」の ○ で囲まれた部分の㍀と㍑の特徴の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|
| 1 | ㍀ | 筆順の変化 | ㍑ | 点画の連続 |
| 2 | ㍀ | 点画の省略 | ㍑ | 直線的 |
| 3 | ㍀ | 点画の省略 | ㍑ | 点画の連続 |
| 4 | ㍀ | 筆順の変化 | ㍑ | 直線的 |

七 次は、兼好法師けんこうほうしが書いた「徒然草つれづれぐさ」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

つれづれなるままに、日暮らし、硯すずりにむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、

あやしうこそものぐるほしけれ。

【現代語訳】

何もすることがないままに、一日中、硯に向かつて、心に次々と浮かんでは消えていくとりとめのないことを、

ただなんとなく書き付けていると、不思議と気持ちが高ぶってくることであるよ。

1 — 線部「あやしう」の意味を【現代語訳】の中から抜き出しなさい。

2 「徒然草」の作品の種類として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| 和歌 | 物語 | 漢文 | 随筆 |

